

事業名 : イサカライティング地域連携事業

団体名 : イサカライティング

1 事業内容

日時 令和7年2月22日(土)

場所 豊岡ミليون座(兵庫県豊岡市中央町4-12 ミليونビル1階)

内容 「豊岡ミليون座のオープンアワー」

10年程度空き家であった元パチンコ店を活用して新規にオープンしたアートスペース、豊岡ミليون座にて落語、芸術文化観光専門職大学の学生による「ガザ・モノログ」をベースとしたレクチャーパフォーマンス、但東町で継続実施されている神楽舞を上演。地元の飲食店なども出店し、賑わいを創造した。

【事業経過】

月日	実施内容	場所	参加人数
8月1日	企画会議	豊岡ミليون座	5名
11月11日	企画会議	豊岡ミليون座	3名
12月5日	企画会議	豊岡ミليون座	3名
1月31日	イベント準備	豊岡ミليون座	3名
2月8日	イベント当日(大雪警報のため中止)	豊岡ミليون座	13名
2月21日	イベント準備	豊岡ミليون座	3名
2月22日	イベント当日	豊岡ミليون座	113名
2月28日	実績報告会・反省会	豊岡ミليون座	3名

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

当初、11月と2月に分けての開催予定でしたが、補助金の減額を受けて、2月のみの開催として企画の縮小を行った。2月のみの開催にすることにより、ボリューム感のあるイベントを開催することができた。計画では2月8日に開催する予定であったが、気象庁より発令された大雪警報のため、開催延期を決定。2月22日に開催した。

日の開催前には新聞折込なども実施、同時にプレスリリースも広く配布したため多くの注目を集めた。その効果としてSNSなども通じて広く“豊岡ミليون座”の始動をPRすることができた。当日は中止となったが、情報が行き届かず来場されるかたもあったため、内覧・見学をしていただき、交流を行った。

延期実施日の2月22日も大雪ではあったが、豊岡市街地を中心に、トータル100名を超える来場者を迎え、10年間空き家となっていた元パチンコ店に新たな光が灯ることとなった。

(2) 地域への波及

築50年以上あるミليونビルは1階のパチンコ店こそ10年前に廃業はしたが、豊岡市の中心部にあり、外観のユニークさもあり、たまにWebやSNSなどで取り上げられることもあった。

今回、豊岡ミليون座として始動することになり、これまで但馬地域では空白となっていたキャパシティ50席程度のアートスペースが誕生することになった。

かつてパチンコ店に足を運んだことがある方々が見学に訪れたり、話題に登ったこともあり、当日を懐かしむ姿が多数見受けられた。

また芸術文化観光専門職大学の学生による利用も始まり、民間のスペースであることでの自由さを活かし、幅広い時間帯での活用が始まっている。

(3) 協働の相手方

一般社団法人江原河畔劇場からは客席を組む際の具材のレンタルを行った。一般社団法人プラッツにはテクニカル面でのアドバイス（音響等）について助言をいただいた。また、両団体ともに置きチラシ等の広報協力をいただいた。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

イサカライティングとして、豊岡ミリオン座の指導に向けて準備をしてきたが、今後は場所ができたため、テクニカル面での場所の運営とコンテンツ面での企画立案をおこなう団体を分けるべきではないかという意見が反省会で見られた。

これまでイサカライティングが運営する豊岡ミリオン座として指導に向けて動いてきたが、イサカライティングは個の印象が強いため、今後は「豊岡ミリオン座プロジェクト」として、多くの人に関わってもらえる組織体になること（NPO 法人化などを検討中）が必要ではないかと考えている。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

今回はスタートアップのため、新聞折込など広報部分を重点に行った。SNS 等では届かない層への効果は圧倒的であると感じた。

今後の利用としては、演劇を中心とした大学生の利用が中心になるのでは？と予測を立てていたが、演劇に特化することなく、音楽イベント、カラオケ大会など幅広い発表の場として活用されていくように間口を広げていきたいと考えている。

今後は地域の回覧板などにも広報をできないか交渉・検討が必要かと考えており、豊岡アートシーズンへの参加、豊岡アートアクションとの連携を通じて大学生の演劇活動の支援をおこなって行きたいと考えている。



7年2月22日 桂ざん次郎落語「鳥取り」



7年2月22日 横沢あかね「なかったことにしない」



7年2月22日 フード出店



7年2月22日 幕間に行われた作品解説および劇場案内